

令和4年度 保育所自己評価

園名 吹田市立東保育園

保育所保育指針では、「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない」ことが明記されています。このことに基づき、公立保育園では毎年自己評価を実施しております。評価の結果を踏まえ、よりよい教育・保育に向けた、改善や充実に取り組んでまいります。

園目標

健康な子
意欲的に遊ぶ子
自分の思いをしっかりとって自分を表現できる子
仲間を大切にする子

評価結果の表示方法

A・・・十分達成されている。 B・・・達成されている。 C・・・取り組まれているが、成果が十分でない
D・・・取り組みが不十分である。

自己評価項目	ABCD 評価	評価内容
保育理念	A	人権を大事にした保育を意識し、園内で人権研修を行い職員の学びの場をもった。
こどもの発達援助	A	全職員で子供の発達、姿からクラスの保育目標を話し合い、保育を行った。
保護者との連携	A	対面開催できる時期には、懇談会や参観を実施した。
地域との連携	A	コロナ禍の中、可能な範囲で対面での地域支援行事を開催した。
運営・管理、社会的責任	A	常に服務規律を意識して日々の業務にあたり、教育・保育活動が円滑に行えるよう職員の情報共有を行った。
職員の資質向上	A	園内研修を年間で計画し、救命救急や保育内容等全職員が学ぶ機会をもった。
安心・安全	A	様々なシュミレーションで危機管理訓練を行い、より安全に保育できるように対応した。

今年度の評価

安心・安全な保育

安心・安全に保育が行えるよう、設備点検や遊びの設定遊具等を写真で確認し、職員間で共有した。災害時の緊急対応についても防災バッグの準備物を各年齢に合わせて検討し、全クラスに配置した。また、交通安全教室を行い、子供たちが学ぶ機会をもった。

来年度の目標

安心・安全な保育
生活づくり